

未来へのチカラを
つなぐプロジェクト

第8回 セディア財団 全国小学生

「わたしたちのくらしと水」 かべ新聞コンテスト2022

入賞作品集

しらべてみよう!!

たいせつな水のこと



主催：公益財団法人 セディア財団

後援：農林水産省 / 全国市町村教育委員会連合会 / 全国連合小学校長会 /
全国小学校社会科研究協議会 / 全国小学校理科学研究協議会 /
日本初等理科教育研究会 / 全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会 /
全国新聞教育研究協議会 / 全国小中学校環境教育研究会



もくじ

- 主催者からのあいさつ……………1
- 審査委員長総評……………2
- 応募規定／経過報告……………3
- 審査結果……………4
- 入賞作品ご紹介……………6
- 応募校一覧……………30



主催者からのあいさつ

公益財団法人セディア財団
理事長 渡邊 元

このたび、セディア財団では「第8回セディア財団全国小学生『わたしたちのくらしと水』かべ新聞コンテスト」の入賞作品集を発刊することとなりました。本コンテストは、小学生の皆さんに、わたしたちの暮らしに欠かすことのできない、大切な「水」について調べ、考える機会を持ってもらいたいという想いで、2015年度より開催しております。第8回の今回は、全国の小学校178校から、5,991作品も力作が寄せられました。共同制作の作品もあるため、制作に携わった児童は6,327名に上ります。

今回は、身近な地域から世界まで幅広い視点で、水がいかに大切であるか言及している作品が多く見受けられました。また、新型コロナウイルスの影響で今年も浄水場への見学などが制限される分、自分ができる範囲で実験や調査を行うなど、バラエティーに富んだ作品が多く集まり、小学生の皆さんの水に対する関心の高さや、水への想いを改めて感じられる素晴らしいコンテストとなりました。本コンテストを通して学んだことが、今後の学びの場や生活のなかで活かされることを期待しております。

水はわたしたちにとって大切な資源です。わたしたちの暮らしに必要な不可欠な水の大切さを、次世代を担う子どもたちに伝えるため、これからも本コンテストを継続して参ります。

今後ともご支援、ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

表彰式は最優秀賞受賞者が在籍する学校を主催者が訪問して行いました。



京都市立竹の里小学校（京都府）

応募規定

タイトル

第8回セディア財団 全国小学生
「わたしたちの暮らしと水」かべ新聞コンテスト2022

テーマ

- 「わたしたちの暮らしと水」
＜テーマ例＞
○～ステイ・ホーム～家族でチャレンジ！節水とエコ
○水の歴史を調べてみよう
○つたえよう！水の大切さ
○世界の国の水事情
○わたしたちの地域の水じまん
○水と環境のつながりを調べてみよう
○防災と水
○井戸ってなに？むかしの水と暮らし
○学校や家で使う水はどこからくるのかな？
○水の不思議を探してみよう
○植物に水をあげよう
○水を通して考える自然の恵みと災害 など

応募方法

- 応募作品には、次の事項を明記した裏面の応募票を貼付してください。
○作品の題名 ○学校名 ○学年
○氏名(グループの場合は全員の氏名)
○担当教諭名 ○連絡先 ○連絡先電話番号・住所
○保護者等の支援について
- 作品は新聞形式のもので、もぞう紙・学習新聞用紙・はがき新聞など、大きさは自由とします(タテ書き・ヨコ書き自由)。
- 画材は自由で、カラーまたはモノクロも問いません。また、イラスト・マンガ・写真など自由に入れてください。
- 手書きまたはパソコン・タブレットを使って制作することもできます。
※パソコンまたはタブレットで制作した作品を応募する場合は、プリンターで出力のうえ郵送してください。

対象学年

小学1年生～6年生

締め切り

2022年11月10日(木)(当日消印有効)

発表

2023年1月予定(日本経済新聞/読売新聞/主催者ホームページ)

賞と賞品

- 個人・グループ表彰
 - 最優秀賞：1作品
賞状、記念楯、副賞(図書カード5万円分)
 - セディア財団特別賞：1作品
賞状、記念楯、副賞(図書カード3万円分)
 - 優秀賞：4作品
賞状、記念楯、副賞(図書カード2万円分)
 - 準優秀賞：10作品
賞状、副賞(図書カード5千円分)
 - 佳作：20作品
賞状、副賞(図書カード千円分)
 - 努力賞：65作品
賞状、副賞(図書カード5百円分)
- 学校表彰(学校または学年として優秀な作品を多数応募した学校を表彰)
 - 学校優秀賞：1校
賞状、記念楯、副賞(図書カード5万円分)
 - 学校賞：5校程度
賞状、副賞(図書カード3万円分)
- 参加賞
応募者全員に記念品

経過報告

作品募集

全国の小学校5千校に対し、2022年5月30日からご案内チラシ・ポスター・応募の手引き等の発送を開始。
7月には、セディア財団活動報告書「Mizu Mirai(ミズミライ)」とともに、再度上記の5千校にご案内チラシ・ポスターを送付するとともに、後援各団体への募集協力依頼と、事務局(プラスエム)ネットワークを通じて、全国の小学校に応募を呼びかけました。

応募総数

2022年11月10日(木)の作品応募締め切り日までには、全国の小学生から5,991作品(178校)もの力作が集まりました。

一次審査会

【開催日】 2022年11月24日(木)
最終審査会ノミネート作品(40作品)と、努力賞候補作品の選考を行いました。

最終審査会

【開催日・場所】 2022年12月16日(金) 日本経済新聞社東京本社
一次審査会で絞り込まれたノミネート作品(40作品)について厳正な審査を行い、各賞を決定しました。

※一次審査会で選ばれた「努力賞」候補作品を承認しました。
※内規に従って選考された学校優秀賞(1校)および学校賞(5校)を承認しました。

最終審査委員

(順不同・敬称略)

- | | |
|-------|----------------------------|
| 田村 学 | 國學院大學人間開発学部初等教育学科教授(審査委員長) |
| 和田 幹夫 | 全国小学校社会科研究協議会会長 |
| 西尾 克人 | 全国小学校理科研究協議会会長 |
| 宮崎倉太郎 | 全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会会長 |
| 菅野 茂男 | 全国新聞教育研究協議会会長 |
| 藤森 克彦 | 全国小中学校環境教育研究会会長 |
| 渡邊 元 | 公益財団法人セディア財団理事長 |

審査委員長総評



「水」は、私たちが生きていくために欠かすことのできないものです。このかけがえのない「水」をテーマに、全国の多くの子どもたちが、かべ新聞の作成にチャレンジしてくれました。新型コロナウイルス感染症がなかなか収束しない状況の中、応募総数は5,991作品に達し、178校もの参加がありました。応募数は過去二番目の多さとなりました。コロナ禍とはいえ、全国の多くの学校で熱心な教育活動が行われていることを強く実感させる嬉しい応募状況でした。

作品については、身近な水について、一人ひとりの興味や関心に基づいて探究している様子が伝わってきました。単に、調べて、まとめて、新聞にするといいだけでなく、そこから新たな疑問や課題が生まれ、また新しい調査活動や追究活動が始まっていることに感じました。こうしたプロセスを繰り返していく中で、物事の本質に迫っていくことができるようになるはず。今回の応募作品では、命の源である「水」の大切さを実感するとともに、毎日の暮らしにおける「水」との関わりや「水」を通しての世界とのつながりを考える姿が多く見られました。これからの社会では、答えのない問題に対して、自らの力を存分に発揮するとともに、周囲の人と力を合わせながら、解決に向けて諦めず前向きに取り組み続けることが大切です。かべ新聞作成の中で身に付けた課題を発見する力、分かりやすく発信する力、多様な人と関わる力などを様々な場面で発揮し、本物にしてほしいと願っています。



最終審査の様子

國學院大學人間開発学部初等教育学科教授
田村 学



努力賞(64作品)

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
愛知県	豊川市立千両小学校	1	辻本 夏姫	みずを守る
神奈川県	日本大学藤沢小学校	3	小口 太陽	分け合おう大切な水
青森県	弘前大学教育学部附属小学校	4	島田 紗羽	水と生き物新聞
岩手県	奥州市立稲瀬小学校	4	及川 瑞依紗	見学新聞
岩手県	奥州市立稲瀬小学校	4	及川 結翔	水のこと新聞
福島県	郡山市立芳山小学校	4	岡野 優香里	水新聞
福島県	郡山市立行徳小学校	4	木戸 愛彩	三春ダム新聞
栃木県	宇都宮市立国本西小学校	4	大房 維侑美	水はどこからどんなふうには家にはこぼれる!
栃木県	作新学院小学部	4	松本 悠愛	パンダ新聞
埼玉県	川口市立安行小学校	4	末永 織唯	水とわたし達のくらし
埼玉県	草加市立栄小学校	4	佐々木 結菜	SDGsと私たちのくらしと水新聞
千葉県	松戸市立梨香台小学校	4	長洲 侑磨	治水新聞
東京都	東洋英和女学院小学部	4	志田 京子	プールの水質新聞
東京都	品川区立伊藤学園	4	渡部 勲矢	水の大事さ新聞
東京都	世田谷区立砧南小学校	4	神宮司 凧・木村 咲葵 関川 結	水は旅する!!
東京都	練馬区立豊玉南小学校	4	矢作 凜子	水は生命の大切な源
東京都	練馬区立豊玉南小学校	4	照井 あこ	みんな大好き お水
東京都	三鷹市立第四小学校	4	上原 桃子	水は大切
東京都	国分寺市立第五小学校	4	中村 珠実	世界の水
東京都	国立学園小学校	4	内田 遥花	きれいな「水」新聞
神奈川県	横浜市立鶴見小学校	4	栗原 夕依	びっくり新聞
兵庫県	高山市立新宮小学校	4	斯波 文翔	アクア新聞
静岡県	静岡市立両河内小中学校	4	山崎 暖真	世界の水
静岡県	静岡市立両河内小中学校	4	滝 陽和	水と命
静岡県	磐田市立東部小学校	4	古海 菜央	海の微生物
愛知県	蒲郡市立塩津小学校	4	三輪 ミツキ	水はどこから?新聞
滋賀県	草津市立波川小学校	4	前田 彩希	下水道にみっ着してみた新聞
京都府	一燈園小学校	4	井関 郁	浄水場新聞
京都府	木津川市立城山台小学校	4	井上 羽夏	水節水新聞
大阪府	大阪市立東中浜小学校	4	中川 奈音	暮らしの水
大阪府	吹田市立佐竹台小学校	4	大波加 康太	吹田 くらし水新聞
大阪府	高槻市立桃園小学校	4	内田 新大	水の生命新聞
大阪府	高槻市立桃園小学校	4	林 舞桜	命の水新聞
大阪府	茨木市立三島小学校	4	今西 晃成	節水新聞
大阪府	富田林市立高辺台小学校	4	稲田 航己・大塚 優梨子 仲谷 夏椿・仲辻 帆美	しげん新聞
大阪府	柏原市立堅下南小学校	4	立花 蓮生	くら水新聞
兵庫県	神戸市立福池小学校	4	亀田 康平	水の循環新聞
兵庫県	神戸市立禰田小学校	4	森本 リな	くらしと水新聞
兵庫県	神戸市立禰田小学校	4	小池 陽菜	水を大切にしよう
兵庫県	神戸市立筑紫が丘小学校	4	堀山 紗瑛	大切な水新聞
兵庫県	神戸市立小寺小学校	4	福永 莉明咲	大切な水新聞
兵庫県	姫路市立荒川小学校	4	山下 潔武	水不足 ぼくたちにできること
兵庫県	明石市立林小学校	4	牛尾 友香	災害と水新聞
兵庫県	西宮市立樋ノ口小学校	4	渡邊 埜乃	水道水新聞
兵庫県	西宮市立樋ノ口小学校	4	安田 はるか	水と人の関係新聞
兵庫県	加古川市立野口北小学校	4	小山 智己	水のゆくえ新聞
兵庫県	加古川市立野口北小学校	4	松本 迅一朗	浄水新聞
和歌山県	和歌山市立楠見東小学校	4	森 七海・古賀 美優	世界の水新聞
和歌山県	和歌山市立雑賀小学校	4	片山 悠梨	水はどれだけ大切なものか
広島県	広島市立牛田小学校	4	山野 辰太郎	「おいしい水」ってナンダ新聞
広島県	英数学館小学校	4	大原 理紗子	世界の水新聞
山口県	宇部市立原小学校	4	藤田 美和	水の力新聞
福岡県	福岡市立席田小学校	4	長友 鈴	大切な水新聞
福岡県	福岡市立東月隈小学校	4	加茂 結花	自然の水新聞
福岡県	筑紫野市立二日市東小学校	4	木下 楓理	水と友達
福岡県	粕屋町立仲原小学校	4	廣瀬 芭那	ダムについて 全国のダム
佐賀県	武雄市立山内西小学校	4	田代 絵依佳	水はどうやって きれいになっているだろう新聞
佐賀県	神埼市立西郷小学校	4	松本 幸志郎	湧き水の不思議
北海道	旭川市立旭川第三小学校	5	福田 愛斗	水と共に
千葉県	市川市立平田小学校	5	二瓶 沙紀	SDGsと水
千葉県	市川市立平田小学校	5	小島 悠愛	世界の水新聞
東京都	足立区立島根小学校	6	堀内 ゆのん	限りある水とSDGs
東京都	江戸川区立南篠崎小学校	6	高田 泰地・山口 大雅	ありがとう!水新聞
神奈川県	横浜市立師岡小学校	6	高 農堯	水とくらし

学校優秀賞(1校)

都道府県	学校名
福岡県	筑紫野市立二日市東小学校

学校賞(5校)

都道府県	学校名
兵庫県	神戸市立福池小学校
兵庫県	加古川市立野口北小学校

京都府	木津川市立城山台小学校
広島県	広島市立牛田小学校
福岡県	粕屋町立仲原小学校

最優秀賞(1作品)

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
京都府	京都市立竹の里小学校	4	橋本 菜七	明日をつくる水

セディア財団特別賞(1作品)

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
和歌山県	和歌山市立高松小学校	4	伊藤 利玖	断水まなび新聞

優秀賞(5作品)

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
愛媛県	大洲市立新谷小学校	2	西山 知花	わたしのいえの水
東京都	筑波大学附属小学校	4	鈴木 武蔵	水道新聞
滋賀県	草津市立老上小学校	4	加藤 雄貴	琵琶湖新聞
大阪府	羽曳野市立高鷲小学校	4	宮崎 宗獅郎	井戸作りを通して考えるSDGs
千葉県	習志野市立屋敷小学校	6	高山 悠莉	守ろう!きれいな水新聞

準優秀賞(9作品)

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
千葉県	千葉市立誉田東小学校	4	石井 友乃	水の歴史と大切な水新聞
東京都	筑波大学附属小学校	4	高木 誠之輔	水源林新聞
東京都	早稲田大学系属早稲田実業学校初等部	4	猪鼻 空人	水を守る工夫
神奈川県	日本大学藤沢小学校	4	西川 崇登	ぼくたちの飲み水
長野県	大町市立大町西小学校	4	下坂 昊誠	大町水新聞
京都府	南丹市立園部小学校	4	大石 早智花	防さい新聞 ~水がいから命を守るために~
兵庫県	神戸市立玉津第一小学校	4	弓削 朱花梨	守れ!地球の水
茨城県	水戸市立梅が丘小学校	5	大曾根 功実	水の種類新聞
愛媛県	大洲市立新谷小学校	6	西山 和花	私の水新聞 ~肱川水系を守れ~

佳作(21作品)

都道府県	学校名	学年	氏名	作品名
神奈川県	横浜市立荏田南小学校	3	太田 明里	水について考えてみよう
兵庫県	明石市立大久保南小学校	3	小中 香凛	ステキな水新聞
岩手県	奥州市立稲瀬小学校	4	及川 瑞稀	田瀬ダム新聞
埼玉県	戸田市立戸田第一小学校	4	原 美織	水新聞 ~知っていますか?水のこんなこと~
千葉県	松戸市立梨香台小学校	4	松元 爽	いろいろ知ろう水の大切さ
東京都	筑波大学附属小学校	4	萩原 玄太郎	僕達が守る水新聞
東京都	江戸川区立南篠崎小学校	4	多田 結香・三浦 風馬 山崎 希実・住吉 大輝	水害新聞
東京都	三鷹市立第四小学校	4	中丸 文	未来の水 ~世界中の水~
神奈川県	川崎市立川崎小学校	4	山西 昊希	世界の水新聞
愛知県	蒲郡市立塩津小学校	4	本田 かいり	宇連ダム新聞
滋賀県	甲賀市立大原小学校	4	上嶋 紗季	甲賀市の水新聞
大阪府	高槻市立桃園小学校	4	佐々木 心歌	水の惑星新聞
兵庫県	神戸市立福池小学校	4	和田 泉美	昔と今の水新聞
和歌山県	和歌山市立高松小学校	4	上辻 さくら	あたり前じゃない!水のあるくらし
福岡県	北九州市立黒崎中央小学校	4	水尾 秋音	超極水新聞
福岡県	筑紫野市立二日市東小学校	4	豊島 汐夏	世界と水新聞
鹿児島県	鹿児島市立吉野小学校	4	川路 愛虹	水の再生工場たんけん新聞
京都府	亀岡市立亀岡小学校	5	中島 莉奈	未来へ届け!きれいな水
兵庫県	太子町立斑鳩小学校	5	八木 翔太	下水道新聞 ~よみがえった揖保川~
千葉県	千葉市立作新小学校	6	亀田 千央里	水力新聞
神奈川県	横浜市立境木小学校	6	伊藤 夕夏	昔からの水の技新聞

最優秀賞

「明日をつくる水」

京都府京都市立竹の里小学校 四年

橋本 栞七

受賞者の声

社会科で「くらしと水」について学習し、わたしは水に支えられて生きているということを学びました。そんなわたしの生活に欠かせない水について深く考えてみようと思いいこの新聞をつくりました。この新聞を読んだ人に水の大切さについて気づいてもらえたらうれしいです。

選評

社会科で学んだことと、今年の水不足の状況から問題意識を深め、新聞作りに取り組んでいます。そして、自分の住む京都市の飲料水が作られる仕組みや琵琶湖疎水の働き、災害への備えなどについて、資料活用、見学、実験など様々な方法で調べ、分かりやすくまとめられています。問題解決的な紙面構成で、筆者の主張が強く伝わる素晴らしい作品です。

指導の先生から

最優秀賞の受賞おめでとうございます。どんなことにも前向きな気持ちで粘り強く熱い思いをもって取り組む栞七さん。社会見学で行く予定の琵琶湖疎水へ見学に先んじて行く行動力や、手作りろ過装置をつくる手先の器用さに、「さすが!」と感じます。様々な角度から水の大切さについてアプローチし、細かな調べ学習や実験を通して、知識や経験を自分のものになっていることが伝わってきます。

明日をつくる水

発行 2022年8月22日 京都市立竹の里小学校 橋本栞七

わたしたちの大切な水

一学期に社会科の授業で「くらしと水」について学習しました。わたしたちが毎日使っている水は水道のくらしをひねると出ている水道の水は安全な水だといわれています。でもこれはすぐ使えなくなるのではないかと、今年度の梅雨は雨が少なかつたので水不足や節水の大切さを学ぶ機会がありました。そこでわたしは「明日をつくる水」と題して、調べ学習を行いました。

琵琶湖疎水の役割

琵琶湖疎水は1890年に完成し、様々な役割を果たしています。また、1923年の京都府三郷の完成によって、京都府近郊区の琵琶湖が潤ったとされています。

浄水場の役割

浄水場は、琵琶湖の水をろ過し、きれいな水にします。浄水場の役割は、水をきれいにすることです。

家庭での節水

家庭では、節水のために様々な工夫をしています。例えば、シャワーを短くする、トイレのタンクに水をためない、洗濯機を満杯で洗うなどです。

災害時の備え

災害時には、水道が止まる可能性があります。そのため、飲料水やトイレの備えをしておくことが大切です。

ろ過装置の作り方

ろ過装置は、ペットボトルを使って簡単に作ることができます。材料は、ペットボトル、活性炭、砂、小石、布（ポリエステル）などです。

実験結果

ろ過装置を使って水をろ過すると、濁りがなくなり、きれいになりました。これは、ろ過装置の効果が確認できました。

まとめ

水をきれいにするためには、浄水場の役割と家庭での節水が大切です。また、災害時には、飲料水やトイレの備えをしておくことが大切です。水を大切に使い、明日をつくる水を作りたいと思います。

<参考文献>
 ①わたしたちの京都4年
 ②京都市上下水道局
 ③琵琶湖疎水記念館

第8回 セディア財団 全国小学生「わたしたちのくらしと水」が新聞コンテスト2022 最優秀賞決定!

さあ、水について一緒に話しましょう。

公益財団法人 セディア財団

日本経済新聞 (2023年1月26日付 朝刊) に広告掲載されました

第8回 セディア財団 全国小学生「わたしたちのくらしと水」が新聞コンテスト2022 最優秀賞決定!

さあ、水について一緒に話しましょう。

公益財団法人 セディア財団

読売新聞 (2023年1月26日付 朝刊) に広告掲載されました

セディア財団特別賞

「断水まなび新聞」

和歌山県 和歌山市立高松小学校 四年

伊藤 利玖

受賞者の声

セディア財団特別賞の受賞を聞いて驚きました。作るうえで心がけたことは、題名の水を垂らすようなデザインに工夫したり、新聞の途中で折り紙を使って見やすくしたりしたこと。水新聞を読んでもらって、みんなに水の大切さについて気づいてほしいと思います。作ることが楽しかったので、ほかにも森新聞などの違う新聞も作ってみたいです。

選評

自分の身近で起こった断水から「水」の大切さやありがたさを実感し、そこから追究を始めているところが素晴らしいです。断水対策として自分たちにできることを資料活用や調査をして分かりやすくまとめられています。どれくらいの水が必要か、実際に用意し写真で伝えているところも工夫されており、説得力があります。

指導の先生から

利玖さんは普段から何事にも全力で取り組んでいます。夏休みには、学校に足を運び新聞に載せる写真を撮るなどの努力をしたことが実を結んだのだと思います。新聞のレイアウトや見出しに工夫がされていました。私も読んでいてとても勉強になりました。これからも色々なことに興味をもちチャレンジして欲しいと思います。セディア財団特別賞の受賞おめでとうございます。

水が自由に使えるってありがたい!

10月12日断水解消!!

【発生箇所】和歌山市六十谷水管橋から職員

和歌山市で断水発生

令和4年10月3日、和歌山市の紀の川以北地域全域で断水が発生しました。約1万5千人が断水に悩まされた。断水発生から約4時間、断水が解消されました。断水発生から約4時間、断水が解消されました。断水発生から約4時間、断水が解消されました。

和歌山市
河西地区
河東地区
紀の川
断水エリア
ぼくの家

うきになにかる水はれ?もだをだのん確何けはか保かのあらす水る用る?かだ意たた必るでめ時要

当たり前飲んだり使ったりしている水、いつもどれくらい? 1日あたり約25Lの水をとって、お風呂などの生活で約220Lの水を使っている!!

1日の生活で使う水の量

洗面	13L (6%)
洗たく	33L (15%)
炊事	40L (18%)
トイレ	46L (21%)
お風呂	88L (40%)

1日に飲んだり出したりする水の量

食事	1.0L
体内で作られる水	0.3L
飲み水	1.2L
水の出入り	2.5L (1日)
おしっこ	1.6L
呼吸や汗	0.9L

成人男小生

水分(体重%)

編集後記

水の新聞を作ったおかげで、色々と気づいたこと、色々と知ることができた。色々と知ることができた。色々と知ることができた。色々と知ることができた。

災害時協力書

災害時の生活用水用について、災害時の生活用水用について、災害時の生活用水用について、災害時の生活用水用について。

マンホールトイレ

トイレが使えるなくなると、トイレが使えるなくなると、トイレが使えるなくなると、トイレが使えるなくなると。

お風呂の残り湯

お風呂の残り湯は、お風呂の残り湯は、お風呂の残り湯は、お風呂の残り湯は。

他に参考になったこと

断水が解消した後、断水が解消した後、断水が解消した後、断水が解消した後。

給水容器を用意

水を確保するために、水を確保するために、水を確保するために、水を確保するために。

飲み水を用意

水を確保するために、水を確保するために、水を確保するために、水を確保するために。

日本ってめくまれている

水を飲むために、水を飲むために、水を飲むために、水を飲むために。

水を確保するために、水を確保するために、水を確保するために、水を確保するために。

水を確保するために、水を確保するために、水を確保するために、水を確保するために。

水を確保するために、水を確保するために、水を確保するために、水を確保するために。



優秀賞

「わたしのいえの水」

愛媛県 大洲市立新谷小学校 二年

西山知花

受賞者の声

新聞を作るために、水の本を読んだり、家ぞくがどのくらい水をつかっているか調べたりしました。そして、地きゆうには、生きものがのむことのできる水は、少ししかないと知りました。それなのに、わたしの家だけでもたくさんのお水をつかってしまいました。思いました。

選評

2年生で、自分の家の水に注目して、探求をしています。家庭に届く、上水道の1日に使った量から、こんなに水を使っていることが分かり、詳細な調査をしている点は素晴らしいです。紙面も見やすく、円グラフなど統計処理も立派です。

優秀賞

「水道新聞」

東京都 筑波大学附属小学校 四年

鈴木武蔵

受賞者の声

ぼくのクラスでは水について多くの時間をかけて勉強してきました。社会科見学で三園浄水場に行ったり、先生や友達とくんできた2つの川の水を比べたりしてクラスのみんなで水についてたくさん考えました。これがぼくの新聞のネタのヒントになりました。先生とみんなのおかげで受賞することが出来ました。ありがとうございました。

選評

2年生で、自分の家の水に注目して、探求をしています。家庭に届く、上水道の1日に使った量から、こんなに水を使っていることが分かり、詳細な調査をしている点は素晴らしいです。紙面も見やすく、円グラフなど統計処理も立派です。

選評

東京都の飲料水を支える多摩川と荒川を取り上げ、見学や聞き取りをして調べ、対比的にまとめるなど話題、紙面構成がとても工夫されています。また、水道水を支える様々な立場の「人」に着目して、その働きや思いをまとめている点も見事です。

優秀賞

「琵琶湖新聞」

滋賀県草津市立老上小学 四年

加藤 雄貴

受賞者の声

ほとくの住んでいる滋賀県は、琵琶湖の水で生活しています。濁った水がどのようにしてきれいな水に変わるのかを不思議に思い調べました。きれいな水になっていく過程がすごく大変だということを知り、水の大切さを学ぶことができました。この新聞でみなさんにも水の大切さに気づいてもらえたらうれしいです。



選評

身近な琵琶湖を取り上げ、琵琶湖の水が自分たちが飲めるまで、現地に行き、実験や調査をしています。特にCODを活用して、実際に琵琶湖の水が飲めないことを確かめ、調査する必要性を生み出している点が素晴らしいです。

優秀賞

「井戸作りを通して考える」

SDGs

大阪府羽曳野市立高鷲小学校 四年

宮崎 宗獅郎

カンボジアで井戸作りをして一番印しように残ったことは、「カンボジアや世界の貧困地いきには、まだまだ井戸が足りていない」という事です。生きるために水は必要不可欠です。それにきれいな水があれば、よりよい地球をつくることができます。これからも、発展と上国のしえんを続けていきたいと思ひます。

受賞者の声

選評

カンボジアで現地の人々と共に井戸作りをした行動力に驚かされます。そして、水質検査やインタビューをして取材を深めるとともに、SDGsと関連づけながら調べを広げ、自分たちにできることを考えています。主体的な取り組む姿勢に感心しました。



優秀賞

「守ろう！きれいな水新聞」

千葉県習志野市立屋敷小学校 六年

高山 悠莉



受賞者の声

選んでいただきありがとうございます。まさか自分が受賞できると思っていなかったものでとてもびっくりしました。強調したいところに線を引き、実験などに写真をつけて分かりやすく伝えられるよう、工夫しました。この賞を通して多くの人に自然の力や水の大切さを知っていただけたらうれしいです。

選評

飲料水をテーマにして、水源林、浄水場、下水処理場、そして自分たちの家庭を一つのサイクルの中で捉え、それぞれの働きや、影響をまとめている点が素晴らしいです。特に森林の働きについては、実験を通してまとめられており、その大切さが強く伝わります。

準優秀賞

「水の歴史と大切な水新聞」

千葉県千葉市立誉田東小学校 四年

石井 友乃

選評

自分の住む地域の昔の土地や生活の様子を調べることで、「人々のくらしには水が欠かせない」と実感したことが伝わってきます。

「水源林新聞」

東京都筑波大学附属小学校 四年

高木 誠之輔

選評

水源林に浄水場の方の取り組みを中央に配置し紙面を工夫しています。見学でボランティアの必要性などを理解している点も感心しました。



準優秀賞

「水を守る工夫」

東京都 早稲田大学系属早稲田実業学校初等部 四年

猪鼻空人

選評

海外で水道水を飲めるのは珍しいことから、日本の上下水道の良さ、資金調達の仕組みなど多面的に調べてまとめられています。



準優秀賞

「大町水新聞」

長野県 大町市立大町西小学校 四年

下坂 昊誠

選評

大町市の水のおいしさの秘密をさぐることを探求している点に感心しました。実際に上白沢水源を尋ね、よく調査に取り組み、立派です。



「ぼくたちの飲み水」

神奈川県 日本大学藤沢小学校 四年

西川 崇登

選評

浄水場で水をきれいにする仕組みを参考に、細かく条件を変えて水をろ過する実験を行ったので説得力のある新聞になっています。



「防さい新聞」

「水がいから命を守るために」

京都府 南丹市立園部小学校 四年

大石 早智花

選評

地域で起きた水害の体験談を聞くなどして、水害の恐ろしさを痛感しました。日頃の備えがいかに大切か伝わってきました。



準優秀賞

「守れ！地球の水」

兵庫県神戸市立玉津第一小学校 四年

弓削 朱花梨

選評

新聞の記事から明石川の水が飲めなくなることを知って必然性のある研究になっています。表などで見やすくまとめている点も見事です。



準優秀賞

「私の水新聞」

「肱川水系を守れ」

愛媛県大洲市立新谷小学校 六年

西山 和花

選評

飲み水のサイクルを最初に配置し見やすい紙面です。実際の見学から、紙の溶け方について実験で調べている点も素晴らしいです。



「水の種類新聞」

茨城県水戸市立梅が丘小学校 五年

大曾根 功実

選評

水の種類について分かりやすく表にまとめて見やすく工夫をしています。身近な飲み水について多面的な観点から実験している点も秀逸です。



佳作

「水について考えてみよう」

神奈川県横浜市立荏田南小学校 三年

太田 明里

選評

大切な水資源についてクイズ形式でわかりやすく読む人に伝えています。水道水ができるまでを写真をつないで解説する形が新鮮です。





佳作

埼玉県 戸田市立戸田第一小学校 四年

原美織

「水新聞」知っていますか？

水のこんなこと〜

選評

学校の水がきれいになる仕組みやすぐ近くに井戸があることに驚き、きれいな水を飲むことのできる幸せを実感したことが伝わってきます。

佳作

兵庫県 明石市立大久保南小学校 三年

小中香凛

「ステキな水新聞」

選評

新聞の上段の記事が「川に注目した水資源」に着目した点が素晴らしいです。素敵なイラストも紙面のわかりやすさに貢献しています。



「いろいろ知ろう水の大切さ」

千葉県 松戸市立梨香台小学校 四年

松元爽

選評

世界と日本を比べながら日本の水道の素晴らしさを伝えていきます。比較してものごとを考慮理解する大切さがわかる良い作品です。

「田瀬ダム新聞」

岩手県 奥州市立稲瀬小学校 四年

及川瑞稀

選評

「百聞は一見にしかず」の言葉のとおり、実際に見学することでたくさんのお話を学ぶ大切さがわかります。



佳作

「僕達が守る水新聞」

東京都筑波大学附属小学校 四年

萩原玄太郎

選評

災害時に頼りになる防災井戸に着目したのが素晴らしいです。身近なことからダム、マイクロプラスチックまで調べてまとめられています。



佳作

「未来の水〜世界中の水〜」

東京都三鷹市立第四小学校 四年

中丸文

選評

「何でこんなに水がおいしいのか」水道局の人にとって最高のねぎらいの言葉です。節水を呼びかけ、おいしい水を大切にしたい気持ちが伝わってきます。



「水害新聞」

東京都江戸川区立南篠崎小学校 四年

多田結香・三浦風馬
山崎希実・住吉大耀

選評

水害の歴史を調べ、水害が増えていることに危機感を持ち、「公助」「自助」「共助」にも触れて災害への備えの意識が高まります。



「世界の水新聞」

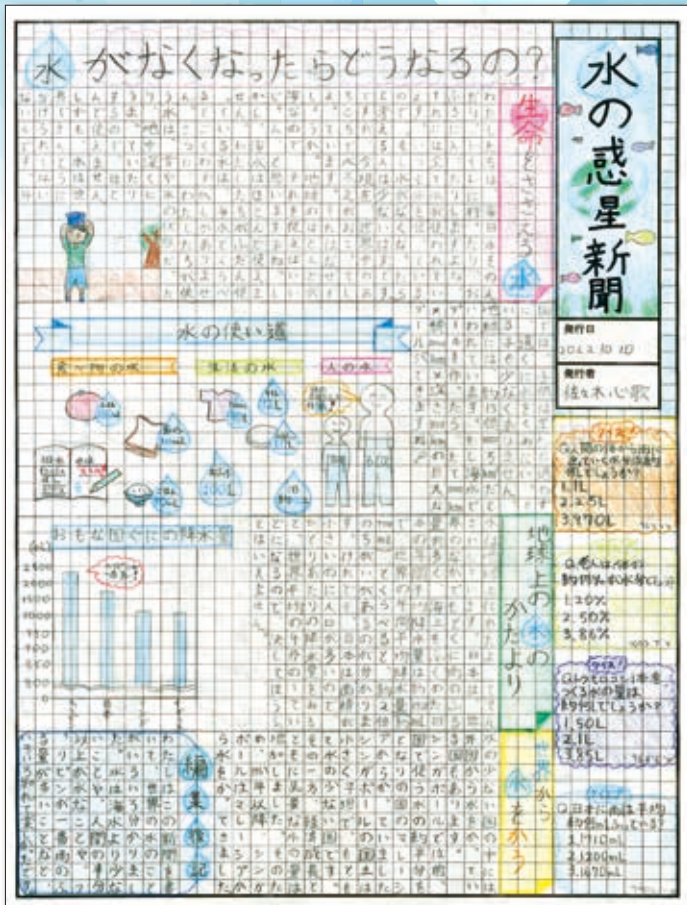
神奈川県川崎市立川崎小学校 四年

山西昊希

選評

「水不足」「安全な水」世界レベルの2つの課題をユニセフのHPから探してテーマにしたのが素晴らしい着眼点です。





佳作

「水の惑星新聞」

大阪府 高槻市立桃園小学校 四年

佐々木心歌

選評

水のことを知らずして地球の価値を語ることは出来ぬ。そんな言葉がピッタリな作品で、わかりやすくまとめられています。

佳作

「宇連ダム新聞」

愛知県 蒲郡市立塩津小学校 四年

本田 かいり

選評

ダムと下水処理施設に足を運び水資源について実感したことをまとめています。4コマ漫画もわかりやすく、この新聞のアクセントになっています。



「昔と今の水新聞」

兵庫県 神戸市立福池小学校 四年

和田 泉美

選評

昔と今の時代の様子を比べながら水道の大切さに気づいています。紙面の配置も工夫しながらよくまとめられています。

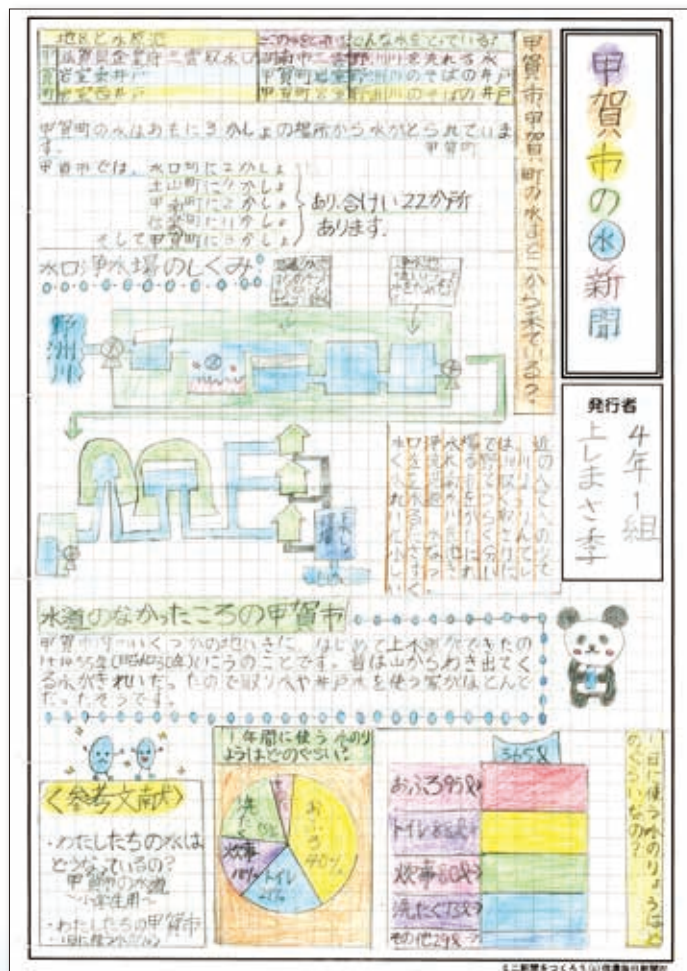
「甲賀市の水新聞」

滋賀県 甲賀市立大原小学校 四年

上嶋 紗季

選評

地元の水資源について丁寧に調べています。1日に使用する水の量を家の人にインタビューなどすると、さらに興味がわく新聞になりそうです。



佳作

「あたり前じゃない！」

水のあるくらし」

和歌山県 和歌山市立高松小学校 四年

上辻 さくら

選評

断水を経験された方のインタビューや、自分が実際に試してみても学んだことがわかりやすくまとめられています。



佳作

「世界と水新聞」

福岡県 筑紫野市立二日市東小学校 四年

豊島 汐夏

選評

世界の「水事情」についてわかりやすくまとめられています。いかに日本が水に恵まれているかがよくわかります。



「超極水新聞」

福岡県 北九州市立黒崎中央小学校 四年

水尾 秋音

選評

不純物のおかげで水が美味しい、という内容がこの新聞の面白いところですよ。日本で使用できる水の量が世界平均を下回るという記事にもびっくりです。



「水の再生工場たんけん新聞」

鹿児島県 鹿児島市立吉野小学校 四年

川路 愛虹

選評

教室の授業では学べない水の再生について、浄水場に行き調べたことを丁寧にわかりやすくまとめられています。イラストが上手で目を引かれます。



佳作

「未来へ届け！きれいな水」

京都府 亀岡市立亀岡小学校 五年

中島 莉奈

選評

未来のために自分の考えたアイデアをSDGsと関連づけてまとめられていて、創造性に富んでいます。



佳作

「水力新聞」

千葉県 千葉市立作新小学校 六年

亀田 千央里

選評

当たり前に見える「水の力」を再認識してみようという発想から作られた「水力新聞」は身近な事例を多く取り上げ、とてもわかりやすくまとめられています。



「下水道新聞」

「よみがえった揖保川」

兵庫県 太子町立斑鳩小学校 五年

八木 翔太

選評

下水道の仕組みや役割りがわかりやすくまとめられています。この作品を読んだ人は水を流すときの意識が変わると思います。



「昔からの水の技新聞」

神奈川県 横浜市立境木小学校 六年

伊藤 夕夏

選評

「風呂」「かき氷」「ししおどし」「水琴窟」など、昔から続く人々の「楽しみ」に着目してまとめた点がユニークです。



校 一 覧

都道府県	学校名	
兵庫県	加古川市立野口北小学校	
	三田市立松が丘小学校	
	太子町立斑鳩小学校	
奈良県	橿原市立耳成西小学校	
和歌山県	和歌山市立楠見東小学校	
	和歌山市立雑賀小学校	
	和歌山市立高松小学校	
	紀の川市立田中中学校	
島根県	出雲市立北浜小学校	
広島県	広島市立牛田小学校	
	英数学館小学校	
	東広島市立造賀小学校	
山口県	宇部市立原小学校	
愛媛県	大洲市立新谷小学校	
	四国中央市立妻鳥小学校	
福岡県	北九州市立黒崎中央小学校	
	福岡市立若宮小学校	
	福岡市立和白東小学校	
	福岡市立東光小学校	
	福岡市立東月隈小学校	
	福岡市立席田小学校	
	福岡雙葉小学校	
	福岡市立内浜小学校	
	飯塚市立立岩小学校	
	筑紫野市立二日市東小学校	
	糸島市立雷山小学校	
	志免町立志免南小学校	
	粕屋町立仲原小学校	
	佐賀県	佐賀市立若楠小学校
		武雄市立山内西小学校
嬉野市立吉田小学校		
神埼市立西郷小学校		
熊本県	荒尾市立緑ヶ丘小学校	
宮崎県	宮崎市立大淀小学校	
鹿児島県	鹿児島市立吉野小学校	
	鹿児島市立伊敷小学校	
	西之表市立安納小学校	
	日置市立伊集院小学校	
	長島町立伊唐小学校	
	長島町立蔵之元小学校	
龍郷町立大勝小学校		
沖縄県	沖縄アミークスインターナショナル小学校	

都道府県	学校名	
愛知県	豊川市立千両小学校	
	蒲郡市立塩津小学校	
滋賀県	草津市立渋川小学校	
	草津市立老上小学校	
	甲賀市立大原小学校	
京都府	京都文教短期大学附属小学校	
	京都市立伏見住吉小学校	
	一燈園小学校	
	京都市立竹の里小学校	
	福知山市立昭和小学校	
	亀岡市立亀岡小学校	
	南丹市立園部小学校	
	木津川市立城山台小学校	
	大阪府	大阪市立東中浜小学校
		大阪市立阿倍野小学校
大阪市立長居小学校		
大阪市立矢田東小学校		
堺市立三原台小学校		
吹田市立佐竹台小学校		
高槻市立北大冠小学校		
高槻市立桃園小学校		
貝塚市立二色小学校		
茨木市立三島小学校		
茨木市立山手台小学校		
泉佐野市立第三小学校		
富田林市立高辺台小学校		
寝屋川市立国松緑丘小学校		
香里ヌヴェール学院小学校		
柏原市立堅下南小学校		
羽曳野市立高鷲小学校		
泉南市立雄信小学校		
大阪狭山市立南第二小学校		
兵庫県	神戸市立魚崎小学校	
	神戸市立福池小学校	
	神戸市立稗田小学校	
	神戸市立横尾小学校	
	神戸市立筑紫が丘小学校	
	神戸市立小寺小学校	
	神戸市立玉津第一小学校	
	姫路市立荒川小学校	
	百合学院小学校	
	明石市立林小学校	
	明石市立大久保南小学校	
	西宮市立樋ノ口小学校	
	加古川市立八幡小学校	
	加古川市立志方小学校	

都道府県	学校名	
東京都	江戸川区立南篠崎小学校	
	立川市立第四小学校	
	三鷹市立第四小学校	
	調布市立緑ヶ丘小学校	
	国分寺市立第五小学校	
	早稲田大学系属早稲田実業学校初等部	
	国立学園小学校	
	神奈川県	横浜市立鶴見小学校
		横浜市立青木小学校
		横浜市立本町小学校
横浜市立桜台小学校		
横浜市立日吉南小学校		
横浜市立師岡小学校		
横浜市立境木小学校		
横浜市立上矢部小学校		
横浜市立日野南小学校		
横浜市立桜井小学校		
横浜市立義務教育学校緑園学園		
横浜市立荏田南小学校		
川崎市立川崎小学校		
川崎市立京町小学校		
川崎市立東生田小学校		
LCA国際小学校		
相模原市立小山小学校		
相模原市立清新小学校		
相模原市立谷口台小学校		
平塚市立崇善小学校		
鎌倉市立御成小学校		
藤沢市立大鋸小学校		
日本大学藤沢小学校		
小田原市立山王小学校		
新潟県	長岡市立脇野町小学校	
	上越市立上雲寺小学校	
福井県	坂井市立加戸小学校	
長野県	大田市立大町西小学校	
	山ノ内町立南小学校	
岐阜県	高山市立新宮小学校	
	羽島市立竹鼻小学校	
	各務原市立稲羽西小学校	
静岡県	静岡市立両河内小中学校	
	磐田市立田原小学校	
	磐田市立東部小学校	
愛知県	名古屋市立二城小学校	
	名古屋市立鳴子小学校	
	瀬戸市立下品野小学校	

都道府県	学校名
北海道	旭川市立旭川第三小学校
	帯広市立川西小学校
	名寄市立名寄西小学校
青森県	弘前大学教育学部附属小学校
岩手県	奥州市立稲瀬小学校
福島県	郡山市立行徳小学校
	郡山市立芳山小学校
	いわき市立三和小学校
茨城県	いわき市立高坂小学校
	水戸市立梅が丘小学校
栃木県	日立市立田尻小学校
	作新学院小学部
埼玉県	宇都宮市立国本西小学校
	川口市立安行小学校
	川口市立本町小学校
	所沢市立並木小学校
	所沢市立所沢小学校
	鴻巣市立赤見台第一小学校
	草加市立栄小学校
	越谷市立弥栄小学校
	越谷市立鷺後小学校
	戸田市立戸田第一小学校
戸田市立笹目小学校	
桶川市立桶川西小学校	
久喜市立東鷲宮小学校	
千葉県	千葉市立作新小学校
	千葉市立誉田東小学校
	市川市立大町小学校
	市川市立平田小学校
	松戸市立東松戸小学校
	松戸市立梨香台小学校
	松戸市立馬橋北小学校
佐倉市立小竹小学校	
習志野市立屋敷小学校	
柏市立柏第一小学校	
印西市立高花小学校	
東京都	東洋英和女学院小学部
	筑波大学附属小学校
	墨田区立小梅小学校
	品川区立伊藤学園
	世田谷区立砧南小学校
	北区立岩淵小学校
	板橋区立上板橋第四小学校
練馬区立豊玉南小学校	
足立区立島根小学校	

自然からの学びを、
よりよい未来づくりへ。
セディア財団はさまざまな活動を
展開しています。

人は自然とともに暮らし、自然から多くのことを
学んで大人になってきました。しかし利便性や
効率だけを優先して突き進むわたしたちの
社会は、便利になったけれど、その分、自然と
接する場所がどんどん失われている状況にあり
ます。これはしあわせな状況なのでしょうか？
いつの時代も、自然は偉大な教師。自然との
共存なくして、しあわせな暮らしは成り立ちません。
大切なのは、気づくことです。セディア財団は気
づきの場になることから始めます。すべての生き
物の命の源であり、すべてのはじまりである「水」
を中心に、自然の大切さ、自然からの学びの
尊さを発信し、学びの場となる活動を行って
います。「かべ新聞コンテスト」の開催もそのひとつ。
かべ新聞の制作を通して、子どもたちに“水の
大切さ”に気づいてほしいという願いを込めて
スタートいたしました。自然へ向きあう子どもたち
の真摯な姿勢こそ、たしかな未来づくりへの財産。
自然からの学びを、よりよい未来づくりへ活かす
ために、セディア財団はさまざまな活動を展開
しています。これからのセディア財団に、どうぞご
期待ください。



水から学んだこと。自然から学んだこと。未来にとって大切なこと。

さあ、一緒に
話しましょう。

水の未来を。



公益財団法人 セディア財団

〒104-0045 東京都中央区築地5丁目6番10号 浜離宮パークサイドプレイス6F
TEL: 03-3549-3090 FAX: 03-5565-6374
<https://www.sedia-found.org>

いつもありがとうございます

〈お問い合わせ先〉

セディア財団 全国小学生「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテスト運営事務局(株式会社プラスエム内)

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-17-6群成舎八丁堀ビル6階
TEL: 03(6222)5251 FAX: 03(6222)4823 E-mail: mizu-shinbun@plus-m.co.jp